



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：治安情勢

(5月11日付現地各紙報道取纏め)

1. 全体概要

5月10日、イラク国内で20件以上のテロ事件が発生した。本事件による死傷者は400名以上に達する(11日付AFP電は、犠牲者の合計は、死者100名以上、負傷者約350名と報じている。)

2. 各地の事件

(1) ヒッラ (バビロン県県都)：死者35名、負傷者150名

ヒッラの事件は、10日にイラク国内各地で発生したテロ事件のうち最大の惨事となった。午後1時半ごろ、ヒッラ中心部の衣料工場の駐車場付近で2発の自動車爆弾が爆発し、バスに乗り仕事帰りの労働者が巻き込まれた。更に、その1時間後に体に爆薬をベルトで巻きつけた者による自爆テロが起こり、現場で救急作業中の者たちも巻き込まれた。

(2) ワーシト県スウェイラ：死者11名、負傷者70名

クート (ワーシト県県都) の北方のスウェイラの町中の市場付近で自動車爆弾、簡易爆弾の爆発が発生した。

(3) バスラ：死者30名、負傷者50名以上

バスラ市内の二つの市場で3台の自動車爆弾による爆発事件が発生した。昼過ぎにバスラ市内の旧市場で自動車爆弾が爆発し、16名が死亡、50名が負傷した。また、バスラ市内のハムサ・ミールで2発の自動車爆弾が爆発したが、死傷者数は不明(11日付AFPは死者30名と報じている)。

(4) バグダード：警官、イラク国軍への攻撃事件

10日の午前6時半から8時にかけて、バグダード市内各所で警察・治安要員に対する攻撃が行われた。

ア. 技術大学付近の攻撃では、警官1名が死亡、1名が負傷した。

イ. バグダード西部のジハード地区の警察の検問所への攻撃では、兵士1名が死亡、3名が負傷した。

ウ. アデル地区のイラク国軍検問所への攻撃では、兵士1名が死亡、3名が負傷した。

エ. ガザーリーヤ地区のイラク国軍検問所への攻撃では、兵士1名が死亡、1名が負傷した。

オ. ヤルムーク地区のイラク国軍検問所への攻撃では、兵士1名が死亡、1名が負傷した。

(なお、AFP 電は、バグダード市内 6 カ所で警察・治安要員への攻撃が発生し、7 名の要員が死亡したと報じている。)

#### (5) その他の事件

上記の他、バグダード北方のターリミーヤ町役場付近で自動車爆弾爆発事件（死者 3 名、負傷者 16 名）やラマーディー市内の警察官宅爆発事件（女性 1 名死亡、子供 3 名負傷）等も発生した。

#### 【参考】

##### <2009 年夏以降の大規模テロ事件>

2009-08-07（金） イラク北部モースル（ニナワ県）のシーア派モスク近くで自動車に乗った人物が自爆し、モスクから出てきた 38 名が死亡、140 名が負傷した。

2009-08-10（月） イラク北部モースルの東のハズナ（al-Khazna）村で、2 つのトラック爆弾が爆発し、30 名が死亡、155 名が負傷した。同村の住民の圧倒的多数はシーア派。

2009-08-19（水） イラクの首都バグダードの 7 カ所で、外務省や財務省の建物等を狙った、爆弾を積載したトラックの連続爆破事件が発生し、合わせて市民 95 名が死亡、他 1000 名以上が負傷した。今年最悪の惨事。

2009-09-10（木） 同日早朝、イラク北部のクルド人の村 Wardek（ニナワ県）で、爆弾を積載したトラックを運転していた者が自爆し、村民のうち少なくとも 20 名が死亡、27 名が負傷した。

2009-10-25（日） 首都バグダードの司法省とその近くの県庁舎を狙った 2 つの爆弾が連続して爆発し、132 名が死亡、500 名以上が負傷した。

2009-12-08（火） 首都バグダードの中心部で、裁判所や財務省の仮庁舎等、政府庁舎を狙って少なくとも 4 つの自動車爆弾が連続して爆発し、少なくとも 112 名が死亡、425 名が負傷した（AP は死者数を 127 名、負傷者数を 513 名と報道）。殆どが自爆によるもの。

2009-12-30（水） 西部アンバール県のラマーディーの県庁舎の外で 2 つの爆発があり、少なくとも 27 名が死亡、100 名以上が負傷した。2 つの爆発とも自爆によるもの。

2010-01-25（月） 首都バグダード中心部にある 3 つのホテルで、自動車等に仕掛けられた爆弾が自爆犯により相次いで爆発し、少なくとも 36 名が死亡、71 名が負傷した。

2010-01-26（火） 首都バグダードにある警察の法医学研究所で自爆攻撃があり、少なくとも 17 名が死亡、約 80 名が負傷した。死傷者の多くが警察官。

2010-02-03（水） シーア派の宗教行事「アルバイーン」を明後日（5 日）に控え巡礼者がイラクの聖地カルバラーに向か

う中、同地で爆発があり、少なくとも 20 名の巡礼者が死亡、110 名が負傷した。

2010-03-03 (水) 北東部ディヤラ県のバアクーバで複数の男が自爆し、33 名が死亡、55 名が負傷した。死者のうち 12 名は警察官。

2010-03-26 (金) 東北部ディヤラ県のハーリスで爆発があり、52 名が死亡、73 名が負傷した。爆発は国会選挙の結果発表の直前に発生。

2010-04-02 (金) バグダード南のスナ派の村 Albusaifi に、米軍の格好をした武装グループが侵入し、24 名を殺害した。

2010-04-04 (日) バグダード中心部の外国大使館を狙って 3 件の連続自爆攻撃があり、41 名が死亡、249 名が負傷した (数字は内務省)。国会選挙の終了と組閣の間のタイミングを見計らい、政治プロセスを狙った攻撃とみられる。

2010-04-06 (火) バグダード各地 (シュアラ地区、チュクーク、シュルタ・ラービウ、アッラーウィー等主にシーア派地区) で連続して爆発が発生し、7 棟のビルが破壊され、少なくとも 35 名が死亡、他 140 名が負傷した。標的とされたのは殆どが住宅用ビル。

2010-04-23 (金) バグダード各地で 13 件の爆発があり、少なくとも合計 56 名が死亡、他 121 名が負傷した。現場の殆どがシーア派モスクや市場の近くで、金曜礼拝の時間を狙ったものと思われる。